

086・222・6806

岡山市厚生町

# 光生病院

光生病院は開設当初から救急に力を入れるとともに、岡山大病院（岡山市鹿田町）との連携で高度な治療・手術に取り組んできた。ウジを使った足の壊疽治療や性同一性障害の患者を対

象とした手術を協力して実施。高齢社会が一層進み、患者のニーズが複雑化する中、専門医療と幅広い要求にこたえられる体制を模索している。（阿部光希、河内慎太郎）

## 「慈愛と奉仕」理念に



佐能 量雄理事長

病院の創立は一九五二年。父の佐能正（故人）が、太平洋戦争で従軍していたフィリピン・マニラの部隊で一人生き残った体験をもとに「困っている人を助げたい」との思いで設立しました。「慈愛と奉仕」を理念に、地域で救急医療を中心とした実践してきま

## 救急

一九六三年に他の病院に先駆けて救急指定病院となった。休日・夜間の救急スタッフは医師二人、看護師二人、放射線技師一人、事務員一人の計五人。主に内科と外科で二十四時間受け入れ可能な態勢を整えている。

## 24時間受け入れ可能



（岡山市丸の内）など他の医療機関と連携して速やかに引き継げる態勢を取っている。一九九八年から九月九日に開いている「救急の日」の集いも今年「救急医療の重要性などをPRするため毎年実施している「救急の日」の集い」と話している。

# 岡山の病院力

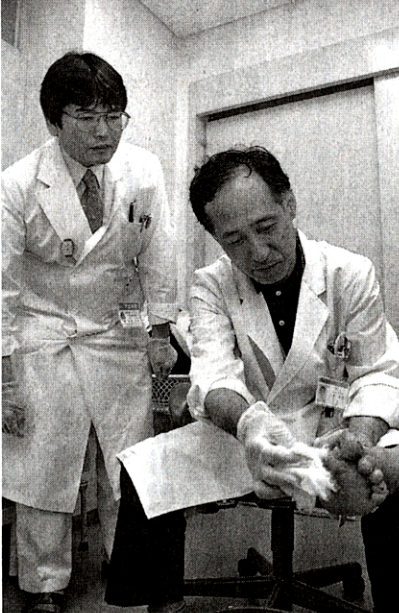
28

毎週火曜日掲載

ホームページ  
岡山の病院力  
<http://iryo.sanyo.oni.co.jp>

## 壊疽した足ウジで治療

岡山大病院との連携治療の代表例は、壊疽した足の治療にウジを使う「マゴットセラピー」だ。



糖尿病で壊疽した足を治療する三井講師（右）と池田副院長

取り除く。ウジが壊死した組織を食べるとともに抗菌タンパク質を出して殺菌。生理活性物質がホルモンを刺激して新しい肉が形成されていく、という。

## 岡山大と連携し高度医療

岡山県内で唯一「マゴットセラピー」を手掛ける三井講師。約百三十症例のうち半数近くを光生病院で実施。「長い期間がかかるだけに、大学病院以外の小回りのきく病院での治療も重要」と言う。

## 性同一性障害患者 乳房切除術も

患者を本名で呼ばず、希望する名前か名字だけで呼ぶ▽病名が見えないようにカルテに一枚紙をかけるーといった注意事項を職員に徹底。プライバシーに配慮するとともに、医療スタッフが偏見を持って患者に接しないように病気の理解を求めた。

## 肝臓病治療

## 非アルコール性脂肪性肝炎 早期発見に力注ぐ



肝臓病、肝炎を専門とする仁科恭一郎院長が担当。日本肝臓学会専門医などの資格を持ち、岡山の内科医の協力も得て、週四日のペースで外来診療をしている。

## 障害者施設等一般病棟



障害者施設等一般病棟（八十一床）は従前の一般病棟、特殊疾患療養病棟を転換して整備した。肢体が不自由な重度障害者や脊髄損傷、難病患者らが入院している。

## 在院日数制限なし

「障害のさまざまな状態に合った細かいケアが必要」と地域医療連携室の吉田禮子主任看護師は言う。

十月から国の入院基準厳格化により脳卒中や認知症が原因の患者の多くが対象外になり、運営上増している。看護体制も